

35 . 昭和初期の旧絹織物工場を活用した映画館の開設支援（山形県鶴岡市）

タイトル	昭和初期の旧木造絹織物工場を再生した映画館開設の支援
銀行名	荘内銀行
取組みに至った経緯等	<ul style="list-style-type: none"> ・1998年（平成10年）頃を境に、郊外型ショッピングセンターやチェーン店のロードサイドへの進出により、地域住民の生活を担っていた商店街は疲弊し、市内の商店街は空き地・空き店舗へと変化してきていた。 ・当行が主宰した「庄内価値開発研究会」での議論をもとに、地域におけるまちづくり事業の受け皿となる完全民間のまちづくり会社「株式会社まちづくり鶴岡」が2007年（平成19年）に設立され、市内中心部に残る木造の旧絹織物工場（松文産業株式会社旧鶴岡工場：昭和7年建築）を活かした商店街の活性化策について議論がなされた。
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり会社と商店街は、中心市街地にこれまでなかった機能を設けることによって人の流れをつくり、各店舗においても集客効果を高めるための販促等を展開する等、中心市街地としての魅力を高める取組みを進めている。 ・その一環として、木造の旧絹織物工場を再生・活用した映画館「鶴岡まちなかキネマ」を2010年（平成22年）に開設した。 ・平屋の木造工場を映画館として再生する試みは全国的にも例がなく、通常は高さを確保して客席を作るところ、地面を掘り下げて客席スペースを確保するなど、その技術は第21回「BELCA賞 ベストリフォーム部門」など様々な建築・音響に関する賞を受賞した。 ・まちづくり会社の設立以来、当行は人材面（代表者や役職員に行員を出向）のみならず、映画館建設にかかる資金調達（協調融資シ団組成や経済産業省の補助金獲得等）でも支援するなど、地域金融機関として地域発展の仕組みづくりに向けた支援を継続して行っている。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡市は絹織物産業にかかる一連の工程（養蚕・製糸・精練・捺染）が残る日本唯一の地域であり、松ヶ岡の養蚕場は日本遺産に登録された。これらを地域の産業遺産として、映画館を含めて観光に活かしていくことが必要と捉えている。
関連公表資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡まちなかキネマ：http://www.machikine.co.jp/matsubun.html ・『平成35年 地域経済の展望と地銀の針路～東北を起点に考察～』（第3章1）株式会社きんざい（株式会社フィデア総合研究所 編著）